

寒冷地の栽培に適する

ハイシュガーコーン

● 雪たねニュース



ハイシュガーコーンの特性と作り方についてはすでに本誌四月号に掲載されておりますが、これらの特性を把握しその優秀性を確認するため、雪印乳業株式会社札幌支社の協力のもとに北海道内数箇所で大面積の現地栽培を実施しました。本年の気候の特徴としては、早春の気象台の予報に反して、北海道は非常に豊作型の天候で、夏の高温、秋の快晴温暖と全く好条件に恵まれておりましたが、とうもろこしの栽培にとっては、八月十二日と九月十八日に大風が吹き、地域によっては相当な倒伏の被害を受けたことが印象的でありました。このような気象状況の中で特に確認をしたかった点は次の事項でした。

1 雄性不稔の影響はどうか

栽培地域はどこか
栽培上の障害はないか

4 収量や高糖分含量に異常はないか
サイレージ用としてすぐれているか

5 北見市富里・信本靈治さんの圃場では、五月二十日播種、八五×二〇秀一本立て一

培上の問題としては倒伏もたいしたことなく、病虫害も見られず収穫も容易です。

富良野市扇山・操上富夫さんは水田転換畑に二糸作りましたが、一株平均重一・六キロで八・三トノ以上の収量でした。

八雲町春日・大井文夫さんのところは、

六三×二二秀、七、二〇〇株で、十月六日調査時六・二トノでした。

八雲町はたいへん風の強い地方で毎年必ずといってよいほど強風のため倒伏し泣かされるが、ハイシュガーコーンは風により彎曲はするが倒れない

ので非常に良いとの評判であり、十月に入つて茎をかじつてみるとサトウキビのよう

三〇九秀、平均草丈二八九秀、平均着穗高一四秀、平均雌穂数一・一個、最多葉数一

五枚、平均葉数一二・六枚、下葉の枯れ上がり〇一枚で、この二糸は完全な隔離状態

の畠で雄性不稔の状態を観察した結果、外側の畦は表紙写真のとおりかなり不稔でした

が、圃場内部では子実はかなり稔実して

おり、その熟度は乳糊熟期でありました。

この不稔回復の程度と糖分の関係は現在上野幌育種場で詳細な検定を実施中ですが、

このほか中標津町でも試作されて好結果を得ております。

本年の各地の試作状況を要約すると、子実の稔らない根鉋地方とか北見、富良野などの高台、山ぞいの冷涼な地域でも安心して栽培できる。風に対して他品種より抵抗性が高い。病虫害の心配は要らない。収量はジャイアンツ程度あるいは若干増収が期待できる。(六〇×二四~二七秀、大体六〇〇〇~七、〇〇〇株一本立て)

信本さんの施肥量はS五〇二化成肥料(N一〇P一七K一〇)一〇〇キロと追肥疏安

二〇キロで、五月二十四日除草剤ロロックス一〇〇秀を散布、中耕一回、手取り除草六

月十八日一回で、圃場はヒエが若干認められる程度で清潔がありました。発芽初期のカラスの害が最も閉口したことでのうつつけの

品種といえます。(開発普及室 岡田)



表紙写真 ハイシュガーコーン

この品種は雄性不稔系であるので子実はほとんど稔らない。しかしこのため糖分含量はグンと高まるのが特徴である。

豚の病気のいろいろ

IV

雪たねニュース

寒冷地の栽培に適する

ハイシュガーコーン

東北地方のとうもろこし

多収栽培法 阿部

暖地水田転換にすすめられる

スイートコーン栽培について

町田 暢

二

寒地水田転換にすすめられる

牧草と機械化

暖地型牧草

佳山 良正

春植(秋掘り)球根の収穫と

冬期間の球根貯蔵について

(その二) 小西 敏昭

一

寒地水田転換にすすめられる

暖地型牧草

(2) 佳山 良正

春植(秋掘り)球根の収穫と

冬期間の球根貯蔵について

(その二) 小西 敏昭

一

表二
表三

頁